

デイサービス新聞 令和3年 7月号



こんにちは！正直家デイサービス新聞です。ようやく梅雨明けと言いたい時期ですが、毎年どこかの地域で豪雨や深刻な被害のニュースが流れ胸を痛めます。流行り病や災害などの暗いニュースが続く中、正直家デイでは利用者様と共に明るい世の中が戻るよう、また皆さんの願いが叶うように七夕の飾りつけをおこないました。



七夕飾りは、今の季節を感じるのにぴったりの制作活動です。飾り付けを作るのに折る、切るなど手先を色々使ったり、願い事を考えるため思考の活性化を図る事が出来ます。今年も立派な笹の木を職員に持ってきてもらい、浪山願い事を書いた短冊など飾り付けをおこないました。



毎日雨が降り続き景色も曇りがちなこの季節ですが、正直家の敷地にも鮮やかなフルーの朝顔が利用者さんや職員の目を楽しませてくれていました。そんな午前中の姿をカメラに収めてみました。

朝顔のフルーに魅せられ…

いつもデイサービス新聞に目を通していただきありがとうございます。素敵な時間を紹介させていただきます。次回もお楽しみに！

柳の下の、雨に濡れる男の子と傘を差したお母さん。さて、この切り絵はある童謡の「コマを描いた切り絵ですが何だかお判りでしょうか？」あめあめふれふれかあさんが…であ馴染み「あめふり」の歌詞です。梅雨は7月に入ってもしばらく続きましたがこれからはいよいよ夏本番ですね。普通の生活を安心して送れる日が戻ってきて活動内容もいろいろなお楽しみが出来るようになっていきたいと思います。



この切り絵は何の歌詞？